

兵庫県保険医協会 第 28 回地域医療を考える懇談会

参加無料

がん患者の病診連携クリティカルパス ～阪神地域の場合

日時 12 月 3 日（土） 14 時 30 分～17 時

【話題提供者】

- ① 小林 研二先生（公立学校共済組合近畿中央病院副院長／地域医療福祉センター長／外科部長／消化器外科）
- ② 西岡 清訓先生（公立学校共済組合近畿中央病院外科医長／呼吸器外科）
- ③ 下茂 朋子氏（伊丹市 カモミール訪問看護ステーション主任／看護師）
- ④ 川村 雅之先生（伊丹市 かむむら歯科／協会理事／北阪神支部副支部長）

会場 伊丹市立商エプラザ 4F 会議・研修室 A（下記地図参照）

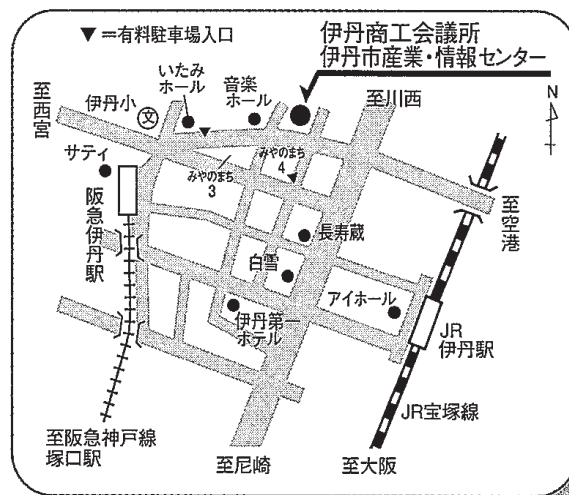
2006 年のがん対策基本法施行以降、拠点病院とかかりつけ医、コ・メディカルなどの連携の重要性が一層高まっております。

今回は、消化器外科医、呼吸器外科医、看護師、訪問歯科医のそれぞれの立場から話題提供いただき、がん患者のオペなどの急性期から回復期と、退院後維持期における在宅での管理のポイントを整理したいと思います。特に外科医の先生方からかかりつけ医に対する要望や地域診療連携拠点病院の機能等についてお話をうかがうことで、実地臨床の交流と病診連携の強化につながれば…と本懇談会を企画いたしました。ふるってご参加ください。

（北阪神支部副支部長／地域医療部／林 宗茂記）

※お問合せは、事務局・吉永、小川（☎ 078-393-1817）まで

（切り取らずに返信ください） FAX 078-393-1802 宛



【FAX 返信】 兵庫県保険医協会北阪神支部担当 行

▼『がん患者の病診連携クリティカルパス』（12/3）に

参加する（ ）人

医療機関名 お名前と職種

TEL FAX

兵庫県保険医協会

北阪神支部
ニュース

2011 年 11 月 5 日号 No.216

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

第 26 回支部総会

原発は決して完成しない技術

元京大原子炉実験所・岩本氏が講演

北阪神支部は 10 月 22 日、伊丹市立商エプラザで第 26 回総会を開催。総会議事では中井通治支部長や金川清人新幹事など新役員体制を確認。あわせて 10 年度活動報告と 11 年度方針を採択した。また、元京都大学原子炉実験所教員の岩本智之氏が「原発“安全神話”の崩壊と代替エネルギー～福島第一原子力発電所事故から考える～」をテーマに記念講演。会員やスタッフ、市民ら 64 人が参加した。

講師は、東日本大震災が発生したその日のうちに、発電所内でメルトダウン（炉心溶融）が始まっていたことをあげ、原子炉建屋、格納容器などの「放射性物質を閉じ込める 5 つの壁」がもろくも崩壊した事故のメカニズムを説明。「東電は『福島は事故は想定外だ』と言っているが、想定外の仕方が間違っていたことによって『事故は起こり得ない』としてきた反省がまったくないことは異常」とし、政府と東電の姿勢を批判した。

また講師は、原子力発電を「未完成な技術なのではなく、『もともと完成するはずがない技術』と捉えなおさなければならない」とし、①原発は安全、②石油資源は枯渇する、③原子力は二酸化炭素を出さない、④原子力は安いとの 4 つの原子力神話の誤りを豊富なデータをもって解明した。

関電の原発について講師は「東電の原子炉と危険性は変わらない。若狭湾の沈下したり隆起したりしてできた複雑な地形を見るだけでも不安定であることがわかり、過去に津波の被害があったことも指摘されている」「我々被災地以外の住民も、原発に対する意識を高めていく同時に、太陽光や風力、地熱などの代替エネルギーへの移行にむけて広範な議論を進めるべき」と呼びかけた。



「地震国日本には特に原発はなじまない」と岩本氏

＝2 面に関係記事・次号に感想文掲載

【アンケートから…】

原発についてはほとんど知識がなかったのですが、少しわかった気がします。テレビなどの報道がどこまで本当なのか考えさせられました。放射性物質について正しく知ることが必要だとわかりました。今後のエネルギー資源については、原発に頼らない方法を考える必要があります。自然エネルギー、太陽光発電に興味を持ちました（伊丹市・薬剤師）

○祝電・メッセージ（順不同・敬称略）

■医師会・医療関係団体■

原 弘（伊丹市医師会長）、三木 篤志（川西市医師会長）、森田 健司（伊丹市歯科医師会長）、茅野 涼一（宝塚医療生活協同組合理事長）

■首長■

藤原 保幸（伊丹市長）、中川 智子（宝塚市長）、

○総会・懇親会ご来賓（順不同・敬称略）

■議員■

いちむら浩一郎（衆議院議員・代理）、ねりき恵子（兵庫県議員）、吉井 健二（伊丹市議員）、佐藤 良憲（同）、上原 秀樹（同）、久村まち子（同）、かしば優美（同）、となき 正勝（宝塚市議員）、草野 としお（同）



講演では、64 人が原発の危険性と今後の代替エネルギーの可能性をを学びあった（上）
総会議事では『税と社会保障の一体改革』を阻止するため、今年度も頑張ろう」との討論が（下）

兵庫県保険医協会北阪神支部役員体制

（2011 年 10 月現在・地区別・五十音順・敬称略）

本年度もよろしくお願ひします！！

■支部役員（2011 年 10 月～2013 年 9 月）

<支 部 長> 1 人 中井 通治（宝塚市）

<副支部長> 4 人 川村 雅之（伊丹市） 西山 茂樹（伊丹市）
林 宗茂（伊丹市） 脇野 耕一（宝塚市）

<幹 事> 13 人 上り口寛武（伊丹市） 太田 威彦（伊丹市）
大森 英夫（伊丹市） 工藤大八郎（伊丹市）
小泉 勇（伊丹市） 城田 勲（伊丹市）
竹内 重人（伊丹市） 谷口 紀善（伊丹市）
安井 武義（伊丹市） 高 俊永（宝塚市）
澤村 新（宝塚市） 田中 健一（宝塚市）
金川 清人（宝塚市・新）

兵庫県保険医協会北阪神支部 在宅医療研究会

認知症の基礎知識

～アルツハイマー型、レビー小体型、前頭側頭型～

（日 時） 11 月 10 日（木）18:00 ～ 20:00

（会 場） 宝塚ホテル6F 宝寿の間

（宝塚市梅野町 1-46 ☎ 0797-87-1151 下記地図参照）

（講 師） つちやま内科クリニック（西宮市） 土山 雅人先生

共催：小野薬品工業株式会社（17 時 45 分から製品説明会）

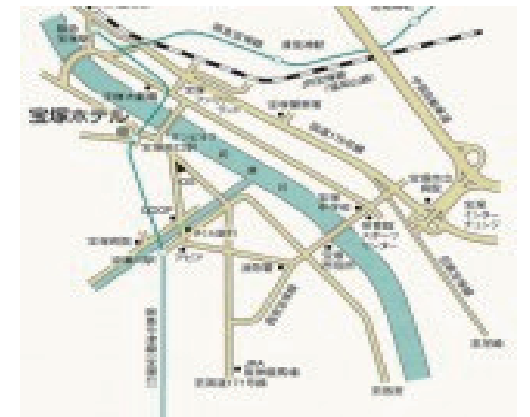
高齢化社会の到来とともに認知症は増加し、2015 年には全国の患者数が 250 万人に達すると予想されています。また、今年になってアルツハイマー型認知症に対する新たな薬剤が 3 種類使用できるようになるなど、医療者のみならず市民の関心も高くなっています。医療や介護に携わる人にとって認知症について正しい知識を持つことは大変重要なことです。

今回は認知症のとらえ方をお話ししたうえで、認知症をきたす疾患の中でも比較的頻度の多いアルツハイマー型、レビー小体型、そして前頭側頭型の 3 つを取り上げて解説します。各々の特徴や対応のポイントを比較検討し、最後に事例を通じて地域で認知症患者さんを支える際の問題点を皆様と考えたいと思います。

認知症の診療は診察室の医師と患者さんだけで完結するものではありません。地域で医療や看護、介護に携わる各職種の皆様との連携が必須です。当日はご出席の皆様と意見交換ができることを楽しみにしています。（土山 記）

お問い合わせは…

TEL：078-393-1817（吉永・小川）まで



（切り取らずに送信ください）【FAX返信】 078-393-1802宛

● 在宅医療研究会に申し込みます

保険医協会北阪神担当行

お名前 _____ 職種 _____

医療機関名 _____ ☎（ ） - FAX（ ） -